

Cancer Parents

子どもをもつがん患者で
つながろう



第2回JPPaC 語りつながる会

患者の声を聴くために
何ができるか

～声なき声を社会に伝え、生きやすい社会へ～

語る人：キャンサーペアレンツ代表理事

西口洋平さん

4月18日(木)午後6時半～

渋谷区文化総合センター学習室 1

会費：一般参加2,000円(学生1,000円)

交流会：3,000円(学生1,000円) 任意参加 @イタリアン

参加申し込み：info@jppac.or.jp



どなたでも参加できます



西口洋平さんの語り 患者の声を聴くために何ができるか ～声なき声を社会に伝え、生きやすい社会へ～

西口洋平さんのプロフィール

2015年2月、35歳の時にステージ4の胆管がんの告知を受け、孤独感、不安感、喪失感を持つ。周囲に同世代のがん経験者がいない状況のなか、2016年4月にインターネット上でのピアサポートサービス「キャンサーペアレンツ～こどもをもつがん患者でつながろう～」を立ち上げる。現在も、抗がん剤による治療を続けながら、仕事と並行して、「がんと就労」「がん教育」などのテーマでの講演や研修なども行いながら活動中。

- 一般社団法人キャンサーペアレンツ代表理事、エン・ジャパン株式会社人財戦略室
- 厚生労働省がん対策推進協議会委員、日本サイコオンコロジー学会「気持ちのつらさ」ガイドライン患者委員
- 第1回日経ソーシャルビジネスコンテスト特別賞、第11回ソーシャルビジネスプランコンペグランプリ
- キャンサーペアレンツから生まれた絵本「ママのバレッタ」(生活の医療社)

グループ討議

『患者や患者団体と、どうすれば協働できるのか?』

自身や自身が所属する組織や地域などで、どのようにすれば、患者や患者団体と協働しながら、お互いにとって活動しやすい、生きやすい社会になっていくのか。みなさんでディスカッションをし、「患者さんの話を聞く」「寄付をする」などにとどまらない新しいカタチの協働に向けた糸口を探っていきましょう。

ネットワーキング：様々な立場の方とつながり、新たな気付きや発見に。



JPPaCは、「すべてのサービスは患者のために」を追求するNPOです。会員募集中！